

広報 なかわだ

第 351 号

12 月の予定

教会委員会	12月14日
典礼委員会	12月7日
主の降誕深夜ミサ	12月24日
主の降誕日中ミサ	12月25日



2008年12月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成20年12月7日



待降節に心がけたいこと

主任司祭 小林 陽一



教会の典礼の暦は、今年の典礼は「王であるキリスト」の主日をもって終わり、待降節に入ると、新しい年の暦が始まり、日曜日に読まれる聖書と典礼はB年となります。

待降節は主イエス・キリストの御降誕を目ざして準備を整え、主の到来に備える時期でもあります。救い主の到来を待ち望む心をもって祈る時期が降誕節となります。

この時期、典礼の聖書朗読では再臨の主が来られる前の様子を記した福音が取りあげられ、「誰にも惑わされないように気を付けなさい(マルコ福音書13章5節)」という主の弟子達に対する警告が注目されます。

再臨の主が、いつ来られるかは御父以外には、だれも分かりません。大切なことはいつ来ても良いという心の準備をすることと、キリストを、信じて一日一日を主に献げて過ごすことです。信者にとっては、信じているイエス様にお会いできる時であるから、何もこわがる必要はないということです。

待降節には、イエス様を気持ち良く迎えるため、自分の生活態度、言葉づかい、神に向かう自分の態度、キリストの教えに対して自分はどのように実行していたか、ふり返り、ゆるしの秘跡を受けることを実行してみましょう。

教会の信者の皆さんとのおつき合いを見直すことも必要です。

待降節は犠牲をして、タバコの本数を減らしたり、甘いものをクリスマスまで食べる回数を減らしたり、愛徳の業を行うことも良いことです。こうした小さな業を主の降誕の夜中のミサや昼間のミサの奉納の時に献げることができます。今年のクリスマス有意義なものにしたいものです。

典礼こよみ (12月)



日	曜	ミサ・勉強会	備考
3	水	聖フランシスコ・ザビエル(祝)ミサ(10時より)	
5	金	初金ミサ(10時より)	掃除1G
6	土	主日ミサ(15時30分より)	黙想会・共同回心式(13時30分より)
7	日	待降節第二主日	主日ミサ(9時より)
13	土	主日ミサ(18時より)	典礼委員会
14	日	待降節第三主日	主日ミサ(9時より)
20	土		掃除2G(9時30分)
21	日	待降節第四主日	教会委員会
24	水	主の降誕(祭)	大掃除(10時)
25	木	主の降誕(祭)	
27	土		
28	日	聖家族(祝)	掃除4G(9時30分)
		祝日ミサ(9時より)	避難訓練



教育の分担

森脇 信行

日本とフランスの考え方の中で、根本的に異なる点の一つに、教育の分担ということがあります。フランスでは、それぞれの分担がはっきりしているので、お互いに責任を果たすことも簡単なのだと思います。逆に日本はゴチャゴチャになっていて責任の所在がはっきりしないところがあると思います。フランスでの教育の分担はおおよそ次の通りです。

- 家庭・・・生活、躰を中心として子どもを育てる
- 学校・・・学習を中心として子どもを教え導く
- 社会・・・趣味、スポーツを助長し、余暇を有効に支える

「家庭は、それぞれの家庭の方針に従って、生活文化を伝承し、躰とマナーを理解させ、良識などを養う場である」ということがはっきりし、皆が理解しています。そのため、中学生らしい髪型や服装はどうしたこうしたを家庭でできないから学校が校則を決める。すると今度は、校則が厳しいとか厳しくないとかいう、議論が生まれる。そのようなことは決してありません。このような議論が生じることは、教育の分担がはっきりしていなくて、皆が自分の役割を理解していないためだと思います。前にも書きましたが、衣食住は親の責任だと思いますが、いかがでしょうか。

また、フランスの学校はほとんど学習のみを中心に行動しています。特に日本でいう「読み書きソロバン」が中心で授業は厳格です。教師の一方的リードで授業が進められ、生徒の興味・関心を高められるようにということは、あまり考えられていません。そして、5月中旬から始まるテストで進級するか、落第するか、それとも飛び級するか、処分が決まります。その代わり学校は、躰は一切しません。もちろん服装は自由ですし、校則もあ

りません。フランス生活の中でびっくりしたことの一つに始業前の校門のようすがあります。朝の校門の外で、校門が開くのを待っている生徒のほとんどが男女を問わずたばこを吸っていました。中には愛情の表現をしている者もいました。先生は見ているけど注意しません。躰に対する指導は学校では絶対にやらないのです。そのうえ、放課後の部活動というようなものもありません。これは社会教育の分野だからです。

社会は趣味、スポーツを助長し、余暇利用を有効にする支援をしていました。「国民の休暇を有効にする省」という役所があるくらいです。ルールは日曜日は無料です。親子で芸術作品を鑑賞する姿をよく見かけました。スポーツは水泳、テニス、乗馬、サッカー、柔道など様々なクラブやスクールがありました。国家検定に合格した専門のインストラクターが指導しています。日本の部活動のように、教員がスポーツを指導するのではなく、専門のインストラクターが指導するのです。学校は水曜日が休みで子ども達は水曜日にそのようなスクールに通ったり、絵画や陶芸など芸術関係の習い事をしたりしています。また、夜は大人達が通い、それが生涯教育へとつながるわけです。美術館、博物館なども充実し、文化芸術への理解を深めることにつながっています。これが、文化財の伝承や文化遺産の理解へつながると思います。

私が行ったヨーロッパのすべての観光地で大切な文化財の柱に日本語で名前、住所、相合傘などの落書きがありました。京都・奈良の修学旅行でもよく見かけますが、国で大切にしている世界共有の文化財にわざわざ傷を付ける日本人の気持ちが理解できません。いくら経済大国と呼ばれても、こんな事から他の国の人から嫌われたり、程度の低い人間だと思われても仕方ないと思います。



11月の要理学校だより

◆ 親の集い 11月16日(11名) ◆

11月の活動報告

- ◆ 初聖体を受ける子供たちは神父様の勉強後、ゆるしの秘跡を受けました。他の子供たちは「御聖体」についての勉強をして、部屋の飾り付けなどパーティーの準備をしました。そして全員でミサのリハーサル、歌の練習をしました。

「御聖体」 美底リーダー

はじめにテーブルクロスの上にロウソクを灯し、十字架と聖書を置き、種なしパンと葡萄酒(ジュース)を準備しました。「あっ、最後の晩餐！」とすぐに気が付いた子どもたち。

その時のお部屋はきつとワインの香りが漂って…と想像しながら聖書を読みました。「どうして種なしパンだと思う？」旧約時代、モーセとイスラエルの民の救いの歴史を思い起こしました。

イエスさまの過ぎ越し祭の食事…新約聖書の言葉を聞き、

目の前で種なしパンを裂くと…「最初のミサはイエスさまがしたんだね!!」と目を輝かせました。

「御聖体を頂くとどうなるかな?」…「イエスさまになる!」そうだね、イエスさまの体に繋がってみんな仲間になるんだね。独りぼっちじゃないよ。淋しい時、辛い時こそ私たちの中のイエスさまの力がムクムク湧いて、みんな助け合って強くなるんだ。

初聖体のお友達のためにみんな心から祈りました。そして、一生懸命パーティーの準備をしました。(M.M)

- ◆ 11/23 初聖体子供ミサ、パーティー参加
- ◆ 11/30 馬小屋、ツリーの飾り付け、劇の練習開始

12月の活動予定

1. 12/7 演技練習
2. 12/14 ゆるしの秘跡、衣装合わせ、演技練習
3. 12/21 リハーサル、クリスマス会
4. 12/24 午後7時ミサ後聖劇発表、パーティー



『カトリック入門講座』受講の記

東原 秀夫

1940年5月29日、16才の私は、イエズス会ヘルヴェク神父様から受洗させて頂きました。未だ信仰に対する理解も信者としての自覚も充分ではなく、信仰の拠りどころ、信者としての生き方は、「天主の十戒」を守ること、「御ミサ」に授かること、朝夕に「主祷文」(主の祈り)、「天使祝詞」(マリア様への祈り)、「使徒信教」(使徒信条)を捧げることが信者の務めと弁えて、小さく乏しい信仰を続ける私でした。

その後或る黙想会の中での「信者の化石になる勿れ」と云う神父様の御説教は、自分の信者としての姿に強い反省を促しました。

一昨年(2006年)9月中和田教会で「カトリック入門講座」(以下勉強会と略記)が開講されました。勉強会は、鍛冶ヶ谷教会の奥田敬子氏(以下先生と略記)が御指導され、隔週ごと概ね2時間半実施され、毎回、テーマに沿って、静思一福音ヶ所の輪読一分ち合い—先生のまとめ—により進められ、途中には小林神父様(中和田教会主任司祭)の「救いの歴史」に就いてのお話もございました。

当初、私は、聖書の教義の解説を聞く程度の気持で出席致しておりましたが、回を重ねます毎に自分の信者としてのあり方、信仰心に、反省と後悔が深まり、時には場違いの質問や発言等を致しましたが、特に数々の「キリストの譬え話による教えと論し」についての説明は、キリストに対する知識と理解の浅はかさを深く恥じる思いが致しました。

また、「分ち合い」の中では、参加している皆様方の人生に於ける喜怒哀楽とその都度のキリストとの出会い、慰め、安らぎ等の御紹介もあり、信者の生き方を教示されるものが多くございました。

超自然である神を、観念的にのみ考え、頑なに自分だけの信仰の殻に閉じ籠っていた私に、「キリストを身近に感じ、キリストに出会い、キリストとお話をさせて頂く」ことを説かれる先生のお話は、私にとって総べてが救いでした。「信者の中には、キリストを信じながらキリストに出会って居らない人が少なくない」。將に、総てをただ信者の義務とだけしか考えずに過ごしてきた私の大いなる誤りです。

2年の勉強会もあと2ヶ月足らず。私の生命の灯も可成り残り少なくなっていると思いますが、この度の勉強会で「信者の化石」にならず、改めて主が示された掟を心に刻み直し、キリストの愛と寛容を頼りにキリストに近づくことが出来ますことを願っております。

途中、突然の病苦に見舞われながら、終始熱心に御指導下さった奥田先生はじめ、受講者の皆様方に主のお恵みが更に豊かに賜われますことをお祈り致します。アーメン。

初聖体ミサとお祝いの会

平成 20 年 11 月 23 日



委員会だより

△11月9日(日) 9名出席
 ■小林主任司祭より



- ◆ 泉区民クリスマスマスの集いに向けた歌の練習のため12/16中和田教会借用申請あり
- ◆ クリスマス前の共同回心式12/6(土) pm1:30~5:00 山手教会高野師に依頼
- ◆ マリアシャトーの横の通路を武田さんが整備して下さったことへのお礼
- ◆ 初聖体を受ける子供達を、共同体として受け入れて上げることが重要。その他11/23初聖体ミサの実施要領についての御指示。

■ 審議事項

- (1) 教会委員の選出状況
 - ◆ 全委員から神父様に候補を提出済
 - ◆ 公募を11月に実施。公示の手続きは事務Gにて実施。教会委員は順繰りで、新しい委員に出て頂くことで教会がより良くなっていくことを意識共有されねばならない。
 - (2) バザーについて
 - ◆ 収支: 478,486円 追加販売他87,000+α
 - ◆ 反省事項も色々あるので、バザー委員会でもとめる。
 - ◆ 良いバザーが実施できた。(小林神父)
 - (3) 第5地区宣教司僕委員会(11/16)に向け詳細対応方針を議論。
 - (4) 諸行事
 - ◆ 初聖体ミサとパーティー: 11/23(日)
 - ◆ 共同回心式: 12/6(土)、高野神父
 - ◆ 降誕祭: 典礼Gにて予備検討
 - ◆ 大掃除: 12/20(土) 10時、男性の積極参加をお願いしたい。
 - ◆ 各グループ連絡・報告事項
- a. 営繕G・トイレ改修案件
 ◆ 臨時信徒大会の議論を受けて、細

- 部調査した結果を報告。11月末までに仕様確定、発注の予定。
- b. 典礼G... 11/2典礼委員会の報告
- c. 財務G... 10/末財務状況の報告
- 一般会計... 269万円
- 建設会計... 630万円
- オルガンを予算に計上して欲しい旨要望があった。
- d. 広報G... 藤沢教会から広報のアンケートが来たので回答する。
- e. 事務G... 12月28日(日)に防災訓練を実施する。皆さんに趣旨を良く御理解頂き事前準備した上で実施したい。

08年7月委員会後記 小野委員長

七五三祝福ミサ、並びに初聖体ミサがそれぞれ11月9日、23日に行われ、皆様のご尽力とご協力により無事に、そして盛大に終えることが出来ました。神様に、そして中和田共同体全体に祝福された小さな信徒さん達が元気に成長していけるよう共同体全体でバックアップしていきましょう。そして、我々大人の信徒も、子どもたちの将来の模範になるような信仰生活を送りたいものです。何と言っても、子どもたちは(否応なしに)大人の「背中」を見ながら成長していくものですから。11/24に挙行された列福式に参列してまいりました。多くの方々

に言いますと、「殉教とは長いカトリック教会史の中の出来事」という具合に今まで「頭のなか」でのみ理解していて、決して体感的には捉えていなかったことが式典ならびにその前後の教会巡礼を通してよくわかりました。殉教した福者たちの信仰生活と、自分の「ぬるま湯」的信仰生活とがあまりにかけ離れてことを思い知らされて、非常に重い宿題を頂いた気持ちです。同行して指導して下さいました神父様が、「殉教者たちは決して「英雄」ではなく、ただ日々の純粋な信仰のなかで「神の愛」を証したのですよ」と仰っていたことが心に残ります。



ペトロ岐部

いろいろな機会にお願いをしていますが、教会委員改選の時期となっております。皆様ご承知の通り、教会委員は決して特別な役回りではなく、任期毎に交代することによって多くの信徒が経験して教会運営に関する理解を深め、また新しい視点から運営方法の刷新を図っていくのが望ましい姿です。現在、公募による立候補のお願いと、現委員が後任者を小林神父様に推薦するワークとを並行して行っておりますが、本年度中に目処をつけることを目標としております。残念なことですが、ここ数年立候補頂いた方は全くおられません。是非、教会運営に関するご関心を強くお持ち頂き、積極的なご参画をお願い申し上げます。

お知らせ

七五三のお祝い
 平成20年11月9日



列福式 長崎 平成20年11月24日

江戸時代に全国各地で殉教した「ペトロ岐部と187殉教者」の列福式が11月24日、長崎市の県営スタジアムで開かれ、約3万人が参列しました。中和田教会からも多数の方が参加されました。

